



2019年11月8日

各 位

会 社 名 タ カ ノ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鷹 野 準  
(コード番号：7885 東証第一部)  
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 大 原 明 夫  
(TEL 0265-85-3150)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、このたび、従前の中期経営計画「Innovation 68」(2017年3月期～2021年3月期)の内容等の見直しを行い、あらためて、中期経営計画「Next Innovation 71」(2021年3月期～2024年3月期)を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の見直し策定について

当社グループでは、本年5月8日公表の2019年3月期決算短信にてお伝えしたとおり、2021年3月期を最終目標年度とする中期経営計画「Innovation 68」(2017年3月期～2021年3月期)を策定し、計画の推進を行ってまいりましたが、昨今の経営環境の変化、足元における業績および施策の進捗状況等を鑑み、施策内容等の再度見直しを行い、「Innovation 68」の目標とする経営成績目標を2023年3月期に達成するべく、中期経営計画の見直しを行うこととしており、検討を進めてまいりました。

検討を進めるなか、足元の米中貿易摩擦等にもなう景気減速懸念等を踏まえ、当初予定していた2023年3月期までの経営計画より、計画期間を1年繰り延べ、2024年3月期を目標達成期として計画の取りまとめを行いました。

以上のとおり、当該計画の見直しが取りまとめられましたため、以下のとおり、新中期経営計画「Next Innovation 71」をお知らせするものであります。

#### 2. 中期経営計画の策定等に関する考え方

従前の中期経営計画「Innovation 68」では、足元の経営環境の変化および全社的な施策の実行面・具体化面での進捗の遅れから、当初目指した目標とのかい離が生じていたところでありました。そこで、それらの反省を踏まえ、あらためて、新たな価値の創造と当社グループの次の成長基盤の構築を果たすべく、取り組み施策の重点化と具体化を行い、新たに設定する目標の達成を目指すものであります。

#### 3. 中期経営計画の基本方針

以下の中長期の基本的な考え方、基本的な方針、考え方の切り口を定め、当社グループ一丸となり、計画の達成を目指してまいります。

##### (1) 長期経営方針

「百年企業となる」 ～常に革新・進化し続ける～

(2) 目指す企業像

「常に高い志を持ち、社会のルールを守り、持続的成長・発展を通じ、豊かな社会の実現に貢献する。」

(3) 中期経営計画スローガン

「Next Innovation 71」

(4) 中期経営計画基本方針

「構造改革とプロセス改革により、高付加価値事業へシフトし、新たな成長路線を構築する」

(5) 中期経営計画キーワード

「3C+S」

- Change
- Chance +Speed (Quick Action)
- Challenge

4. 中期経営目標 (連結ベース)

単位：百万円

連結業績等	2019年3月期 実績	2024年3月期 目標
売上高	23,657	30,000
営業利益	1,136	3,000
(営業利益率)	4.8%	10.0%

5. 全社的重点施策の概要

(1) 高付加価値な商品・サービスへのシフト。

- AI、IoT、センサー、ソフトウェアを組み込んだ高付加価値な商品・サービスの開発提供

(2) 重点分野の設定と当該分野への資源の重点配分による成長の加速。

- 医療機器関連事業分野への積極投資と事業化の加速
- 半導体検査装置事業分野の開発投資の加速

(3) グローバル化に向けた海外拠点の位置づけ強化。

- 中国上海拠点「上海鷹野商貿有限公司」の機能拡充と事業拡大
- 北米事業拠点「Takano of America Inc.」の立ち上げと収益化

(4) 全社横断機能の強化およびプロセス改革による生産性の向上。

- 当社グループにおける各経営プロセス機能の強化による施策スピードと生産性の向上

(5) M&A・コラボレーション等の推進

- 事業構造改革のスピードをあげるため、オープンイノベーション・コラボレーション・M&Aを積極化

以上

本資料は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および施策は今後の経済状況、事業環境等、様々な要因の変化により、記載と異なるものとなる可能性がありますことをご承知ください。